

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



令和元年 7月号
No. 540

図 書 館

校長 佐藤 正文



【令和元年度 プール開き 1年】

「おはようございます！」正門では、通勤の方々と子供たちとの挨拶。南門では、虫や天気の話に、子供たちの笑顔がいっぱいです。

梅雨の晴れ間、6月26日（水）の校内研究では、第1回研究授業を第2学年1組で行いました。生活科単元「大すきな町 おしえたい」、小竹町を探検してまとめたことを発表し合い、町のすばらしさを学ぶ学習です。友達の発表を聞いて、知らなかったことがたくさんあることに気付き、新たな発見につながりました。元渋谷区立幡代小学校長の大澤正子先生にご指導いただきながら、研究を深めています。次回は、第3学年で研究授業が行われます。

さて、先日の全校朝会では、本校の春の読書旬間（6/17～6/28）に関連して「図書館」をテーマにお話を作り発表しました。

とっておきの時間が過ごせる場所

知りたかったことや

新しい出会いが 待っている

読む力を もっともっと つけていこう！

"考えること" "読むこと"

とても 楽しいよ！

毎週金曜日の小竹タイムでは、保護者の方々による読み聞かせをしていただいています。また、各クラスが学校図書館を利用する時にも、学校図書館スタッフの方が、子供たちに読み聞かせをしてくれています。いろいろな本との出会いを通して、本を読む楽しさを、どの子にも味わわせることができる環境が大切だと思います。読み手の皆様に感謝申し上げますと共に、今後ともよろしくお願ひします。

そして、小竹の町にある小竹図書館は、子供たちがよく利用する公立の図書館です。学校の学習でもお世話になっています。大人になっても上手に利用してほしいと思います。

岩手県の紫波町では、駅前に開発された公共施設（オガールプラザ）の中に、図書館ができ、人口3万4千人余りの町にもかかわらず、開館から4年間で町内外から累計80万人超の利用があったそうです。館内には心地よいBGMが流れ、オリジナルグッズも販売。ユニークなイベントも開催しています。紫波町図書館の合い言葉は「何かあったら図書館へ、何が無くても図書館へ！おでっくんなせ！」。図書館は地域の活性化につながる重要な施設だと改めて感じています。

1学期も残り3週間ほどとなり、学習や生活のまとめの時期です。自分の目標を振り返り、次の学習に生かしてほしいと思います。ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。

■ 7月4日（木）～7月6日（土）2泊3日で5年生が岩井移動教室に出かけます。7月6日（土）は、移動教室と重なるため、全校月曜日の時間割で授業があります（給食あり）。7月8日（月）は振替休業日です。